PRESS INFORMATION

ctrlX AUTOMATIONがさらに拡大：安全技術、ドライブ、エンジニアリングの新しいソリューションを発表

Kenta Tanaka | 2026/11/19 | 横浜市（日本）

- 応答性に優れた安全ソリューション「ctrlX SAFETY」が、SafeMotionからSafety PLCアプリケーションにいたるまで機能安全をカバー
- エコノミーラインの追加により、ドライブポートフォリオ「ctrlX DRIVE」に「必要十分」な仕様のモデルが拡充
- オペレーティングシステム「ctrlX OS 4.6」がセキュリティを強化し、エンジニアリングを簡素化
- パッケージ化された「ソリューションセット」が、アプリケーション導入までの期間を短縮



ボッシュ レックスロスは、ctrlX AUTOMATIONのすべての製品ラインナップにおいて、さまざまなアプリケーション分野向けの新製品、新機能、およびパッケージ化されたソリューションセットを追加しています（画像提供：Bosch Rexroth AG）

ボッシュ レックスロスは、オートメーションプラットフォーム「ctrlX AUTOMATION」を包括的に拡張しています。機能安全やドライブ技術の向上にとどまらず、オペレーティングシステムにも新たな機能を追加しました。さらに、長期サポートのリリースである「ctrlX OS 4.6」は、デバイスに大幅なセキュリティの向上とエンジニアリングの革新をもたらします。同時に、モバイルロボティクスやエネルギー技術などの業界向けに用意されたソリューションセットにより、アイデア段階から実際のアプリケーション導入までのプロセスを大幅に短縮します。

ボッシュ レックスロスのオートメーション＆エレクトリフィケーション・ソリューション事業部門 セールス担当シニア・バイス・プレジデントであるステファン・ウィンクラー（Steffen Winkler）は次のように述べています。「オートメーションはますますソフトウェア主導になっており、これにより機械やシステムをさまざまな要件に、より迅速かつ柔軟に適合させる新しい可能性をもたらします。ソフトウェアを介して機能を追加できるケースが増えているため、既存のシステムをピンポイントで強化することが可能です。同時に、強力でスケーラブルなハードウェアが基盤であることに変わりはありません。ctrlX AUTOMATIONによって、私たちはこのシナジーを一貫して推進しています」

SafeMotionからSafety PLCアプリケーションまでをカバーする安全技術

ボッシュ レックスロスは「ctrlX SAFETY」のポートフォリオを完成させ、ドライブレベルからソフトウェアベースの安全制御にいたるまでの機能安全をカバーしました。ctrlX DRIVEは「SafeMotion」により、セーフトルクオフ（STO）、セーフストップ、安全制限速度、安全最大速度などの31の安全機能を備えてい

ます。「ctrlX SAFETYlink」と組み合わせることで、このシステムは安全関連のアプリケーションにおいて極めて高い応答性と信頼性の高い通信を保証します。
スタンドアロンのアプリケーションや既存システムへの統合向けには、コンパクトな安全コントローラ「ctrlX SAFETY SAFEX-C.12」および「SAFEX-C.15」を、モジュール式の機械構成向けには「ctrlX SAFETYplus SAFEX-M.25」をラインナップしています。また「Safety PLCアプリ」を使用することで、追加のハードウェアなしでオペレーティングシステム「ctrlX OS」上で直接、安全機能を実行することが可能です。
従来のマルチプロセッサシステムからソフトウェアベースの安全アーキテクチャへの進化により、ボッシュ レックスロスは新たな境地を開拓しています。例えば安全機能を標準制御システム内のマルチコアプロセッサ上で、アプリケーションとして直接実行できるようになりました。これにより、追加の安全制御ハードウェアなしで安全機能を実装することが可能になります。結果として、スペースとコスト削減が実現し、機械設計における柔軟性が向上します。

「ctrlX DRIVE」に新たなエコノミーラインを追加

エコノミーラインは、必要不可欠なドライブ機能に特化し、高い費用対効果を実現したサーボドライブを「ctrlX DRIVE」のポートフォリオに追加します。厳選された機能に絞り込むことで、高度な専門機能を必要としないアプリケーションに対して、品質を妥協することなく、簡素化されたデバイスアーキテクチャと費用対効果の高いソリューションを提供します。同時に、ドライブシステム「ctrlX DRIVE」とのシームレスな互換性により、既存の設計やプロジェクトをそのままご活用いただけます。ファームウェアや開発ツールが従来製品と共通しているため、既存の設計データを一切変更することなく、そのまま再利用が可能です。

「ctrlX OS 4.6」がセキュリティとエンジニアリングを強化

「ctrlX OS 4.6」は、Ubuntu Core 24をベースにしたボッシュ レックスロスの新しい長期サポート（LTS）リリースです。新機能として、ユーザーがctrlX OSやそれに基づくソリューションへのアクセスを包括的なログイン概念に統合できるようにする「シングルサインオン（SSO）」が導入されました。また、高度なOPC UAセキュリティ機能により、産業用通信の保護がさらに強化されています。
もう一つの新機能は、デバイス上で「Git」を直接使用した、アプリデータの本格的なバージョン管理です。ユーザーは、バージョンの管理、開発ステータスのブランチ作成、変更内容のマージ、必要に応じた以前のステータスへのロールバックを行うことができます。また、外部のGitリポジトリに接続することも可能で、ソフトウェアや設定の変更を透過的に記録・追跡できます。これにより、ソフトウェアエンジニアリングで確立されたプロセスが、オートメーションレベルに直接導入されます。
さらに、ctrlX OS 4.6ではネットワーキング、デバイス管理、およびモニタリング機能が拡張されています。ctrlX OS向けのソフトウェアラインナップも拡大しており、「ctrlX OS ストア」には現在、さまざまなオートメーションタスクに対応する120種類以上のアプリが用意されています。

アプリケーション導入への道を短縮するソリューションセット

新製品や新機能に加えて、ボッシュ レックスロスはパッケージ化された「ソリューションセット」も拡充しています。これらは、代表的なユースケース向けに互換性のあるハードウェアとソフトウェアを組み合わせたもので、具体的なアプリケーションを実装するために必要なエンジニアリングの手間を大幅に削減します。
例えば「モバイルロボット」ソリューションセットは、モバイルロボットや手動フォークリフト向けの制御装置、I/Oモジュール、およびレーザーベースの位置決めソフトウェアを組み合わせています。さらに、エネルギー、ビル、農業の分野向けに設計されたソリューションセットも用意されています。これらの用途は、エネルギー管理、自動アクセス制御、AI支援によるビデオ分析から、冷暖房や灌漑タスク、農業向けのロボティクスソリューションまで多岐にわたります。
これらのソリューションセットにより、ボッシュ レックスロスはctrlX AUTOMATIONのモジュール式アプローチを特定のアプリケーション分野に適用しています。ユーザーはあらかじめ調整されたコンポーネントや機能を利用し、要件に応じてそれらを組み合わせたり拡張したりすることで、カスタマイズされたソリューションを迅速に構築できます。

基本情報 - ボッシュ レックスロス

PRESS INFORMATION

ボッシュ レックスロスは、駆動および制御技術のリーディングサプライヤーとして、あらゆる規模の機械およびシステムの効率的、強力かつ安全な動作を保証します。同社は、建設機械アプリケーション、産業用アプリケーションおよびエンジニアリング、ファクトリーオートメーションの市場分野に、グローバルなアプリケーション規模での様々なアプリケーション経験を持ち合わせています。ボッシュ レックスロス は、インテリジェントなコンポーネント、カスタマイズされたシステムソリューション、エンジニアリング、サービスにより、IoTのアプリケーションに必要な環境を構築しています。ボッシュ レックスロス は、油圧システム、エレクトリックドライブおよびコントロール技術、ギアテクノロジー、リニアモーションおよびアセンブリテクノロジー、IoT向けソフトウェアやインターフェイスをお客様に提供しています。80か国以上に拠点を置き、約31,900名の従業員が在籍、2025年度の売上実績は65億ユーロです。

基本情報 - ボッシュ

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。世界中で約 41 万 3,000 人の従業員を擁しています（2025 年 12 月 31 日現在）。2025 年に 910 億ユーロの売上高を計上しました。事業は、「モビリティ」、「産業技術」、「消費財」、「エネルギー・建築技術」の 4 つの事業部門に分かれています。事業活動を通じて、オートメーション、デジタル化、電動化、および人工知能といった普遍的なトレンドを、技術を活用して形作ることを目指しています。こうした状況において、ボッシュが地域や産業にわたって幅広い事業展開を行っていることは、社の革新性と強靭さをさらに高めています。ボッシュは、ハードウェア、ソフトウェア、サービスにおける確かな専門知識を活かし、単一の提供元からお客様に分野横断的なソリューションを提供しています。また、ネットワーク化と AI に関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーな製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、Robert Bosch GmbH とその子会社 490 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売 / サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 136 の拠点で約 8 万 7,000 人の従業員が研究開発に携わっています
*2024 年の為替平均レート、1 ユーロ = 163.8354 円で計算

プレスお問い合わせ

プレスお問い合わせまでご連絡ください



Kenta Tanaka
+81456053027
Kenta.Tanaka@boschrexroth.co.jp